



社団法人

海外と文化を交流する会

(社) 海外と文化を交流する会会報

2013年6月発行 第54号

(3ヵ月1回発行)

”知と心”の繋がりに文化の原点を求めて

●日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援 ●貧しい国々での医療活動を支援

●各国大使館との協力などによる文化講演会の主催



北條正庸 (ほうじょう・まさつね)

1948年、栃木県生まれ。多摩美術大学教授。1971年、武蔵野美術大学日本画専攻科修了。1976年から創画会賞の入選多数。1990～91年、文化庁在外研修員でローマ滞在。東西の文化を学んだことがその後の作品にも影響を与えている。1995年に創画会会員。山種美術館賞展出品。文化庁現代美術選抜展出品。2006年に日豪交流年30周年記念として「現代日本画展」が豪州メルボルンで開かれた際に、メルボルン日本領事館で「日本画—日本の美」講演。ちなみにその展覧会は(社)海外と文化を交流する会が1977年に豪州に寄贈した25点の展覧会だった。2012年にはヴィクトリア州ハミルトン美術館創設50周年での現代日本画展覧会で、日本画ワークショップは大好評だった。

特集：25年度総会報告

■平成25年（2013）度総会報告

2013年（平成25年）6月1日（土）15:30~16:00 銀座教会地下集会室にて平成25年度総会が開催された。 記録：松田洋子

出席者：松岡裕子 ジョージ・W・ギッシュ 中野真逸郎 鮫島宗明 服部弘
浅野祐一郎 佐藤純一 松岡恒太郎 本田朋子 渡辺いつ子 角谷秀雄
関山幸代 松田洋子 計13名

委任状：23名

定款21条の定めにより、議長として鮫島宗明常務理事が選任され「定款22条による定数を満たしており、有効に成立した」旨を告げ、開会を宣言した。議長より議事録署名人に松岡裕子、中野真逸郎の両理事を選任したいとの発言に一同了承し、直ちに議事に入った。

1. 平成24年度事業報告書

資料「平成24年（2012年）度 事業報告書」に従い、昨年度の事業報告がなされた。質疑、採決の結果全員一致で承認された。

2. 平成24年度収支決算報告

平成24年度収支決算報告書について内容を確認。質疑、採決の結果全員一致で承認された。

3. 平成25年度事業計画案

資料「平成25年（2013年）度事業計画案」に従い、本年度の事業計画が説明された。質疑、採決の結果全員一致で承認された。

4. 平成25年度収支予算案

平成25年度収支予算案について内容を確認。審議の結果全員一致で承認された。

5. 一般社団法人への移行

委員会を立ち上げ、新法人への確認申請書の内容確認をする

6. 理事改選について

現時点においては、前年度を継続。

7. 監事の交代

角谷秀雄前監事の引退に伴い、服部弘氏が指名・承認された。

以上

1. 平成24年度事業報告及び収支決算報告

(1) 平成 24 年度事業報告

資料「平成 24 年（2012 年）度 事業報告書」に従い、財務担当理事が配布資料（下記）に基づき昨年度の事業報告をおこなった。主要項目としては下記のとおりにて、質疑、採決の結果全員一致で承認された。

1. 国際交流事業

- 1) ハミルトン市に於ける日本画展への協力・シンポジウム開催
- 2) 妻有オーストラリア・ハウスの復興支援
- 3) 「大地の芸術祭一越後妻有アート・トリエンナーレ」への協力
- 4) 「松岡朝賞」の創設

2. 「つどい」の開催

3. 一般社団法人への移行申請書の作成
4. 会報の発行
5. 東京ハルモニア室内オーケストラ支援

(2) 平成 24 年度収支決算報告

平成 24 年度収支決算報告書・貸借対照表・財産目録・監査報告書について内容を確認。質疑・採決の結果全員一致で承認された。

2. 平成 25 年度事業計画案及び収支予算案

(1) 平成 25 年度事業計画案

資料「平成 25 年（2013 年）度 事業計画書」に従い、本年度の事業計画案が説明された。主要項目としては下記のとおりにて、採決の結果全員一致で承認された。

1. 国際交流事業

- 1) オーストラリアに理事を派遣する（National Gallery of Victoria の Japan Gallery に関して打ち合わせのため）

- 2) 松岡朝賞の授賞 対象 2 名

2. 「つどい」の開催

- 1) 「世界に発信する和食の魅力」6 月 1 日（土）於：銀座教会
- 2) E P A / F T A をめぐる話し合い

3. 会報の発行 年 4 回とする

4. 講演会・音楽会の開催 4 月 26 日（金） 於：霊南坂教会
大澤一彰（テノール）「日本の歌・世界の歌」

5. 一般社団法人の認定申請

6. 東京ハルモニア室内オーケストラ支援

(2) 平成 25 年度収支予算案

資料「平成 25 年（2013 年）度 収支予算案」について内容を確認・検討。採決の結果全員一致で承認された。

3. 一般社団法人への移行のに関して

委員会を設置し、一般社団法人の認定申請書の内容を確認する。

4. 理事改選・監事交代の件

改選年に当たるが、現時点では前年度のまま再選し新体制発足を待つ。

監事については、角谷秀雄前監事引退のため、服部弘氏が新監事に指名・承認された。

■平成24年（2012年）度収支決算報告

平成24年（2012年）4月1日～平成25年（2013年）3月31日（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	300	0	▲ 300	
基本財産運用収入	300	0	▲ 300	
②特定資産運用収入	0	600	600	
オセアニア美術家招聘基金	0	600	600	
③会費収入	500,000	440,000	▲ 60,000	
正会員会費収入	450,000	410,000	▲ 40,000	
賛助会員会費収入	50,000	30,000	▲ 20,000	
④事業収入	1,020,000	53,000	▲ 967,000	
つどい事業収入	20,000	13,000	▲ 7,000	
国際交流事業収入	0	0	0	
留学生支援事業収入	0	0	0	
オセアニア美術家招聘事業収入	0	0	0	
会報発行事業収入	0	0	0	
講演会・音楽会事業収入	1,000,000	40,000	▲ 960,000	
東京ハルモニア支援事業収入	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
⑤補助金収入	2,000,000	0	▲ 2,000,000	
補助金収入	2,000,000	0	▲ 2,000,000	
⑥雑収入	51,000	273,704	222,704	
寄付金収入	50,000	200,000	150,000	
募金収入	0	0	0	
雑収入	1,000	73,500	72,500	
受取利息収入	0	204	204	
事業活動収入 計	3,571,300	767,304	▲ 2,803,996	
2. 事業支出			0	
①事業費支出	3,941,000	1,534,924	▲ 2,406,076	
つどい事業支出	20,000	54,814	34,814	
国際交流事業支出	300,000	0	▲ 300,000	

留学生支援事業支出	0	0	0	
オセアニア美術家招聘事業支出	3,000,000	1,158,458	▲ 1,841,542	Hamilton 派遣費
会報発行事業支出	146,000	124,933	▲ 21,067	
講演会・音楽会事業支出	400,000	61,037	▲ 338,963	
東京ハルモニア支援事業支出	25,000	25,262	262	
その他事業支出	50,000	110,420	60,420	妻有派遣費
②管理費支出	719,000	1,078,029	359,029	
法人税支出	70,000	70,000	0	
役員報酬支出	0	0	0	
諸謝金支出	300,000	217,393	▲ 82,607	
交際費支出	150,000	42,074	▲ 107,926	
作業謝金支出	150,000	175,319	25,319	
会議費支出	50,000	34,752	▲ 15,248	
交通費支出	40,000	27,840	▲ 12,160	
通信費支出	80,000	93,883	13,883	
事務所費支出	129,000	151,004	22,004	
家賃支出	0	0	0	
光熱費支出	20,000	0	▲ 20,000	
図書印刷費支出	5,000	5,596	596	
消耗品費支出	30,000	102,578	72,578	
HP費支出	74,000	42,830	▲ 31,170	
雑支出	50,000	482,557	432,557	
寄付金支出	0	0	0	
雑支出	50,000	482,557	432,557	
他会計へ振替	0	600	600	
他会計へ振替	0	600	600	
事業活動支出 計	4,660,000	2,612,953	▲ 2,047,047	
事業活動収支差額	▲ 1,088,700	▲ 1,845,649	▲ 756,949	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①投資活動収入				
固定資産特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入 計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
①投資活動支出				
固定資産特定資産支出	0	0	0	
投資活動支出 計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				

1. 財務活動収入				
①財務活動収入				
預り金収入	0	0	0	
財務活動収入 計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①財務活動支出				
預り金支払い支出	0	0	0	
財務活動支出 計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①予備費支出				
予備費支出	50,000	0	▲ 50,000	
予備費支出 計	50,000	0	▲ 50,000	
当期収支差額	▲ 1,138,700	▲ 1,845,649	▲ 706,949	
前期繰越収支差額	2,864,564	2,864,564	0	
次期繰越収支差額	1,725,864	1,018,915	▲ 706,949	

特定資産の増減

日付	預金額	支出額	差引残高	増減
2010年1月25日	1,000,000		1,000,000	
2011年1月25日	560		1,000,560	560
2011年3月4日	1,000,000		2,000,560	1,000,000
2012年3月4日	480		2,001,040	480
2013年1月8日	200		2,001,240	200
2013年3月4日	200		2,001,440	200

■ 平成25年(2013年)度 収支予算(案)

平成25年(2013年)4月1日～平成26年(2014年)3月31日(単位:円)

科目	予算額	前年度予算	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	300	300	0	
基本財産運用収入	300	300	0	
②特定資産運用収入	0	0	0	
オセアニア美術家招聘基金	0	0	0	
③会費収入	500,000	500,000	0	
正会員会費収入	450,000	450,000	0	10,000×44+5,000×2
賛助会員会費収入	50,000	50,000	0	50,000×1

④事業収入	2,060,000	1,020,000	▲ 1,040,000	
つどい事業収入	60,000	20,000	▲ 40,000	1,000 × 30 × 2他
国際交流事業収入	0	0	0	
留学生支援事業収入	0	0	0	
オセアニア美術家招聘事業収入	1,000,000	0	▲ 1,000,000	基金取り崩し
会報発行事業収入	0	0	0	
講演会・音楽会事業収入	1,000,000	1,000,000	0	4,000 × 250
東京ハルモニア支援事業収入	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
⑤補助金収入	0	2,000,000	2,000,000	
補助金収入	0	2,000,000	2,000,000	
⑥雑収入	51,000	51,000	0	
寄付金収入	50,000	50,000	0	
募金収入	0	0	0	
雑収入	1,000	1,000	0	
受取利息収入	0	0	0	
事業活動収入 計	2,611,300	3,571,300	960,000	
2. 事業支出			0	
①事業費支出	2,390,000	3,941,000	1,551,000	
つどい事業支出	120,000	20,000	▲ 100,000	2,000 × 30 × 2
国際交流事業支出	700,000	300,000	▲ 400,000	渡豪費 2名分
留学生支援事業支出	0	0	0	
オセアニア美術家招聘事業支出	1,000,000	3,000,000	2,000,000	松岡朝賞
会報発行事業支出	120,000	146,000	26,000	年3,4回発行
講演会・音楽会事業支出	400,000	400,000	0	会場費、お車代他
東京ハルモニア支援事業支出	0	25,000	25,000	隔年
その他事業支出	50,000	50,000	0	
②管理費支出	719,000	719,000	0	
法人税支出	70,000	70,000	0	
役員報酬支出	0	0	0	
諸謝金支出	300,000	300,000	0	
交際費支出	150,000	150,000	0	
作業謝金支出	150,000	150,000	0	
会議費支出	50,000	50,000	0	
交通費支出	40,000	40,000	0	
通信費支出	80,000	80,000	0	
事務所費支出	129,000	129,000	0	
家賃支出	0	0	0	
光熱費支出	20,000	20,000	0	

図書印刷費支出	5,000	5,000	0
消耗品費支出	30,000	30,000	0
HP 費支出	74,000	74,000	0
雑支出	50,000	50,000	0
寄付金支出	0	0	0
雑支出	50,000	50,000	0
他会計へ振替	0	0	0
他会計へ振替	0	0	0
事業活動支出 計	3,109,000	4,660,000	1,551,000
事業活動収支差額	▲ 497,700	▲ 1,088,700	▲ 591,000
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①投資活動収入			
固定資産特定資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入 計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①投資活動支出			
固定資産特定資産支出	0	0	0
投資活動支出 計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①財務活動収入			
預り金収入	0	0	0
財務活動収入 計	0	0	0
2. 財務活動支出			
①財務活動支出			
預り金支払い支出	0	0	0
財務活動支出 計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出			
①予備費支出			
予備費支出	50,000	50,000	0
予備費支出 計	50,000	50,000	0
当期収支差額	▲ 547,700	▲ 1,138,700	▲ 591,000
前期繰越収支差額	1,018,915	2,864,564	1,845,649
次期繰越収支差額	471,215	1,725,864	1,254,649

予算書注記

1. 当会は手持ち資金の範囲で事業を行い、資金の借入は行わない。
2. 当会は手持ち資金の範囲で事業を行い、負債による資金の補てんは行わない。

報告とお知らせ

■テノール・大澤一彰のチャリティコンサート

■恒例のチャリティコンサート

服部 弘 (社)海外と文化を交流する会監事

恒例のチャリティコンサートが、今年も霊南坂教会において、4月26日(金)に開催されました。オーストラリアの若手芸術家支援のためのチャリティです。

日本を代表するオペラ歌手大澤一彰氏と、ヴァイオリン西山昌子、有馬玲子、ヴィオラ東義直、チェロ間瀬利雄の各氏で構成する弦楽四重奏にくわえて、オルガン飯 靖子さんにご出演いただきました。

ところが、当日の天気予報は関東から北日本は大荒れ、夕刻から夜半にかけて豪雨、強風、竜巻の恐れあり、外出は控えたほうがよいとのこと。最近、天候による自然災害が多いので、予報も慎重なのでしょう。結局、都心はあまり影響なくすみました。「よりによってなんてことだ」などと思いながら、早めの午後4時に現地着、すでに係りの皆さまはお集まりになり、ご担当のお仕事に就かれていましたので、私もパンフレット折りをお手伝いさせていただきました次第。なにせ、昨年まではお客さん、今回は迎える側、なにかしなくては恰好がつかない。

そうこうしているうちに、会場ロビーに人も増え、私が声をかけた知り合いもバザー会場でお買い物、事前にチャリティバザーと分かっていたらもっと時間をとってきたのにとのお言葉。確かに初めての人にはコンサートとバザーの立ち位置が分かりにくく、小生の説明不足でしょう。開演時間もまもなくとなり、コンサート会場に。満員とはゆきませんでした、ゆったりと席が埋まっている感じでした。

飯 靖子さんの奏でるパイプオルガンの音色で開演の幕開け、鮫島会長代行より、お集まりの皆さまに御礼の挨拶があり、いよいよ開演となりました。大澤一彰氏のすばらしいテノールの美声が響きわたり、聴衆を魅了しました。[日本の歌]の後の休憩タイムのとき、すでに『感動、感激で涙がでて止まらなかった』とまでおっしゃる方がいらっしゃいました。

弦楽四重奏とのコラボレーションも絶妙で、おおむねのご感想は『素晴らしかった』『久しぶりに聴かせてもらった』『感動した』『感激した』などなど大好評でありました。コンサートが終了した後も、大澤一彰氏には会場の外まで出向いてくださり、お客さまお一人お一人にご挨拶までしていただき、恐縮いたしました。

今回のチャリティコンサート&バザーにご出演、ご協力、ご来場していただきました皆さまにも心から御礼申し上げます。貴重なご意見も少なからずいただいておりますので、次回からの参考にさせていただきたいと思っております。

■外れのないコンサート

宮川昌子 (社)海外と文化を交流する会会員

大澤一彰、日本にこんなテノールがいたの？と、思うほどでした。嬉しいこと！

ステージ・マナーも素晴らしかったし、気持ちのいい方ですね。2階正面席で一曲一曲に、誰にも負けない長く大きな拍手を送りました。

出演者を決定—準備—リハーサル、そして幕が上がっても終わっても、主催者にとってどれほど大変な仕事か…といつも思いを馳せています。

「外れのないコンサートを毎回してくれてる会だから」と、姉たちを誘いました。大喜びでした。

■「声が向く」

藤村 寛 (社)海外と文化を交流する会会友

松岡様 今日とはとても楽しい音楽会でした。

噂のとおり素晴らしい高音の響きに魅せられました。とくに後半のイタリア歌曲では声が向いている感じがして、生き生きと歌っておられるのが、聞く方でも解って楽しかったですね。

■イタリアのオペラ歌手に引けをとらない大澤テノール

松本純子 (社)海外と文化を交流する会会友

広い礼拝堂の隅々までアヴェマリアの妙なる旋律が響き、その豊かな歌声が聴衆の胸の奥深くにしみわたる感動の幕開けでした。

大澤一彰氏のコンサート、その第一声にまず「しびれました」。

日本の歌の数々は目をとじて伺っていましたが、それぞれの歌のイメージが広がり、至福の時となりました。そして、世界の歌、特にカタリカタリは私の青春思い出の曲です。学生時代、多分授業をさぼって見に行ったイタリア映画の1シーン……バルコニーで恋人を思い切々と歌われたテノールの美声とその情景がよみがえり、いつまでも聴いていたいと願ったことでした。そして、大澤氏の美声がイタリアのオペラ歌手に引けをとらない方だと感じるので、大澤氏のますますのご活躍本当に楽しみにしています。

松岡裕子さんが力を注いでこられた、この文化交流の会が44周年にもなられたことに驚き、また今年もオーストラリアの若い芸術家を支援されることを伺い敬服いたしております。

人と人との心の交流を願っての活動が多くの実りを生み、これからも続けられますようにと願っております。

■外国との文化交流により深みを

ジョージ・ギッシュ (社)海外と文化を交流する会常務理事

昨年に次いで素晴らしいオペラ歌手のチャリティーコンサートに、大勢の観客の中にオーストラリア大使館のチェストナットご夫妻が喜んで出席されたことは印象的でした。そして、ご夫妻は途中退席することなく、最後まで楽しんでおられた様子を拝見することによって、企画と実行に務めた松岡裕子さん、西山昌子さん、松田洋子さんをはじめ、会員の皆さんの熱意と努力の成果を感じました。

このチャリティーコンサートを契機に、「外国と文化を交流」すること、とくにオーストラ

リアの芸術家などとの交流がより深くなることを望みたいのです。

■「つどい」——食文化遺産をめざして

「世界に発信する和食の魅力」として、6月1日（土）（社）海外と文化を交流する会総会後の銀座教会会議室において、「つどい」がひらかれました。

テーマ：「和食を食文化遺産に——世界に発信する和食の魅力」

講師：農水省外食産業室長 靖

参加：講師のほか28名

■会員の募集

海外と文化を交流する会は、すでに40周年をすぎました。ここまで、ずっと続けてきたのは、会員の皆さまのバックアップがあるからです。御礼申し上げます。

会としてさらにボランティアでの有意義な活動をしていきたい、そんな願いをこめて、常に企画を検討しています。

幸いに良質な会員の方々ばかりです。さらなる発展を期待し、新会員をご推薦ください。自薦の場合でも、理事会で面接いたします。事務局までファクスあるいはe-mailでお問い合わせください。

■会費納入のお願い

2013年度の年会費納入をお願いいたします。さらに2012年度2011年度の年会費未納の方は、ぜひともご納入ください。高く評価されている当会の活動は、皆さまのご支援あってこそなのです。

将来、日豪両国の芸術専攻生の教育交流にも発展させたいと考えています。オーストラリアやニュージーランドに寄贈日本画の里帰り展も実現したいと思います。ぜひご支援ください。

郵便振替 00130-2-366249 社団法人海外と文化を交流する会

銀行振込 三菱東京UFJ銀行渋谷支店（普）0026193 海外と文化を交流する会

会費 10,000円（正会員） 5,000円（特別賛助会員） 3,000円（学生会員）

海外と文化を交流する会事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 パインビル内

TEL&FAX 03-3370-7654 e-mail:jimukyoku@kaigai-bunka.org

<http://www.kaigai-bunka.org>